

# 教 師 ノ ー ト

|                            |  |
|----------------------------|--|
| 日付                         | 2015年 4月26日                                    |
| 単元                         | イースター  |
| テーマ                        | 天に上られた主  |
| タイトル                       | 約束   |
| テキスト                       | 使徒 1:3-11                                      |
| 参照箇所                       | ルカ 24:13-26, ヨハネ 14:2-3,16-17,26,15:26,16:7-16 |
| 暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) | 使徒 1:8   |
| AG 日曜学校教案参照箇所 (リンクできます)    |  |

## □導入

みなさんは、「約束」をしたことがありますか? 「約束」は必ず守ることがとても大切なことです。最初から、守らない約束なんて、意味がないですよ。時々、みなさんのお父さんやお母さんは、約束を守らないと怒るでしょう? 反対にお父さんやお母さんが約束を守らないときも、みなさんは怒るんじゃないですか?

イエス様も最後の時に、お弟子さんたちと約束をしたのです。さて、どんな約束だったのでしょうか。

例話)三浦綾子『塩狩峠』(新潮文庫)の中で、主人公の信夫が小学生の時の話しが出てきます。学校のトイレにお化けが出るかどうかを確かめるために夜の8時に桜の木の下に集まるという約束をしました。しかし雨が降って来たので信夫は「行かない。誰も来てないから」と両親に言うと、「約束を破るのは、犬猫にも劣るものだよ。守らなくてもいい約束なら、はじめからしないことだな」と父親が言いました。しゅしゅ信夫が雨の中を桜の木の下まで出かけてみると、何と永野君がいたのです。信夫が「ひどい雨なのによく来たな」と言うと、永野君は「約束だからな」と言いました。信夫は、お父さんに「行け」と言われたから仕方なく来たことを恥ずかしく思いました。この後、信夫と永野君は、生涯の親友になっていくことになりました。(45-60頁)

## □ポイント1 イエスさまは弟子たちに約束をしました(4-5)

よみがえったイエスさまは、弟子たちと一緒にいる時に、「エルサレムから離れないで、父なる神さまの約束を待ちなさい」と命じられました。父なる神さまの約束は、聖霊のバプテスマを受けるという約束でした。

⇒ポイント1か2で、聖霊のバプテスマについて、期待を持たせるように説明をしましょう。

今日の内容では、来週からの単元にならないと、子どもたちには聖霊のバプテスマのことが良く分からないかもしれません。それは弟子たちがペンテコステの日まで、聖霊のバプテスマのことが良く分からなかったことと似ているでしょう。ここでは、聖霊については期待感を持たせるように語り(次の単元を読んで子どもたちに適応させながら)、イエスさまは約束を守って下さるお方だという信仰(信頼)が引き出されるように語りましょう。

## □ポイント2 イエスさまは、再び約束されて天に帰られました(6-9)

弟子たちは、父なる神さまの約束の本当に意味を分かかっていませんでした。そこでイエスさまは、聖霊の力が与えられる時、よみがえったイエスさまの証人になるという約束をされました。そしてイエスさまは、みんなの目の前で雲に包まれて天に帰られました。

聖霊の力は、私たちの想像を超える素晴らしい力です！力を「デュナミス」というギリシア語が遣われています。これは「デュナミス⇒ダイナミス⇒ダイナマイト！」というように(笑)、ダイナマイトの語源となるぐらい大きな大きな力です！恐がっていた弟子たちが、エルサレム、ユダヤ、サマリヤの全土、地の果てまでも、困難や迫害を乗り越えてよみがえりのイエスさまを伝えていく大きな力です。決して破壊的な力ではなく、イエスさまの衣のすそを触った時にイエスさまから流れた力も「デュナミス」です(ルカ 8:46)。つまり人を癒し、強め、生かす、そういう力を聖霊が与えてくれるという素晴らしい約束なのです。

### □ポイント3 御使いたちが、イエスさまが再び来られると告げました(10-11)

弟子たちは、イエスさまが上って行かれた天を見つめていました。どんな気持ちで天を見つめていたのでしょうか？「せつかくよみがえったのに、天に帰って行かれるなんて・・・」、そんな気持ちかもしれません。すると白い衣を着た2人の御使いが弟子たちのそばに立っていたのです。そして2人の御使いは、イエスさまが再び来られると告げました。

\*低学年の子ども達に話す場合は、イエス様が天に上げられる様子を言葉だけでなく、その場に自分がいるような気持ちで演技してみてください。子ども達が、この情景を描けるように話しましょう。

⇒「世の終わりまで共にいる」と言われたインマヌエルなるイエスさまが天に帰られたということ、またイエスさまがやがて来られるということは、今はイエスさまが私たちと共におられないように思うかもしれませんが、確かにイエスさまは昇天され、今は父なる神の右に座して私たちのためにとりなしておられます(ヘブル7:25、ロマ8:34)。そして同時に、聖霊によって私たちと共にいて下さるのです。

### □結論 イエスさまは、約束通りに聖霊を与えて下さり、やがて再び来られます

暗唱聖句を読み上げます

### □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

1. イエスさまの約束の言葉は、必ず実現します。みんなが信じているイエス様の言葉(聖書の言葉)は、どんな言葉ですか？(先生は恐がりだったので、「雄々しくあれ、強くあれ」という聖書の言葉を信じていました。するとその通り、恐い時も力がわいてきました。また経済的にピンチの時もありましたが、「主は私の羊飼、私には乏しいことはありません」という言葉を信じて祈り、神様は必要の全てを満たしてくれましたよ)
2. イエス様は、私たちへの約束を守ってくれますが、みんなはイエス様との約束を守っていますか？今までイエス様に「聖書を読みます」「お祈りします」「弟に優しくします」などなどいろいろ約束して祈ってきたことを思い出して下さい。そして私たちもイエス様との約束を守る人となりましょう。
3. 家族や友だちと約束したことを守っていますか？
4. 聖霊のバプテスマは必ず与えられます。来週から聖霊について一緒に学びます。「私を聖霊に満たして下さい」って一緒に祈り求めましょう！イエスさまは約束を破られるお方ではありません。またやがてイエスさまは再び来られます。私たちはイエスさまに出会う日があります。その日まで、聖霊の力に満たされていきましょう。